



第72回“社会を明るくする運動”長野県作文コンテスト
優秀賞「長野県作文コンテスト審査会委員長特別賞」

IT 社会の闇

茅野市立北部中学校・3年

にしざわ さあや
西澤 彩絢

新型コロナウイルスの影響か、人との関わりがより少なくなったように感じます。昔と比べ性能が発達し、様々な機器が生み出され、とても便利な時代になりました。一方、人々の日常生活に深く関わり、今ではスマホやパソコンが無いと生活に支障が出る程になってきています。音楽がいつでも聴けたり、遠くの人とも簡単に繋がる事が出来たりするととても便利な物です。ですがそういった物を使うことで、家族との関わりが減ったり、遠くの人と繋がれることで事件に巻き込まれたりしてしまうことが増えてきています。

最近で一番多いのが誹謗中傷や悪意のある言葉といったものです。小さい子どもでもスマホを持ったり、ネット上に匿名で誰でも簡単に書き込んだりすることが出来てしまう為、誹謗中傷が増えていっています。実際に私もネットで批判している人もそういうことを受けて心に傷を負ったり、辞めていった人も沢山見てきました。その人が直接自分達に何かした訳ではないし、それによって死ななければならない事なんて無いのに、「匿名だから」「皆やっているから」「なんとなくムカついたから」「気分を害したから」「ストレス発散になるから」そんな理由で、その人から人生も希望も奪って傷つけてしまう、そんな世の中になってしまったことを私は悲しく、酷く残酷だと思います。

誹謗中傷は犯罪や殺人だと私は思います。周りがどうか関係なく自分がどうするかだと思います。一度でも悪口を書き込んだ時点で悲しむ人がいれば犯罪と同じです。確かに人気が出ると好きになる人がいる一方、嫌いになる人がいるのは当たり前です。ですがそれを批判する理由にはいけないと思います。心無い一言がとても大きな事に繋がってしまうのだと思います。

私には優しい親がいて、喧嘩もするけど仲の良い兄弟もいてやりたい事が出来て何一つ不自由のない毎日です。私はふと考えます。必ずしも誰もがこんな日々ではないのではないかと、毎日を苦しんでいる人が沢山いるのではないかと考えます。やりたいことが出来ずに暴力を受けている子達も沢山いて、そんな子達がきっと悪口を書いてしまうのだと思います。だから誹謗中傷をただ無くすのではなく、そんな事をさせている原因を取り除かなければ、永遠に批判は収まらないと思います。そのためにはまず自分の周りを見てほしい、人を批判する前にまず自分と向き合って欲しいと思います。人に当たるほどの辛さや悲しみを癒すべきだと思います。人は環境で簡単に変わってしまいます。だからまず回りや自分と向き合い環境を整えることが必要だと思います。だけど自分一人でどうにかなる問題ではないから、親や兄弟、友達が気づいて助けてあげなければならないと思います。

だけど誹謗中傷する人の中には軽い気持ちで、楽しんでやっている人もいます。私はこちらの方が多いと思います。そういう人達に私は問います。「もしその言葉を自分に向けて言われたら、どう思うか。」小さい頃に習った「自分がされて嫌なことは、人にしない」そんな当たり前のことが出来ない人が多く、そういう人がスマホやパソコン持ってはいけないと私は思います。「自分の行動に責任を持つ事」これが本当に大切だと思います。遊び半分でやった事が人ひとり簡単に殺せてしまう程危険なものだということを知らなければならないと思います。コメント欄などは悪口を書いていい所ではないし、悪口を書いていい所なんてこの世界に存在しません。でもそれが書けてしまう、書こうと思えばどこにでも書けてしまうから、苦しむ人が減らないのだと思います。だから「書けたとしても書かない。」その意識を誰もが持たなければなりません。

誰かを幸せにしたいくて創られた便利な機器だから、誰かを幸せにする為に使うべきだと思います。それがなければ生活出来ない。そんな日々から少しでもスマホを離して、周りに目を向けて欲しいです。家族との関わりを増やして何気ない話をしたり、自分自身と向き合う時間をつくったりしてネットや誹謗中傷のことを考えて欲しいです。一度出してしまったものは戻すことが出来ないから、その言葉を書く前に考えて欲しいです。その言葉が誰を幸せにするのか、その言葉で誰が苦しむのかを想像して欲しい

です。悪口の嵐の中で一つ励ましの言葉があってもすぐかき消されてしま
う程、一人では小さく無力だけど、その行動が周りの人間を変えていくと
思います。とても時間がかかるかもしれない、それを馬鹿にしてくる人も
無駄だと笑ってくる人もきっといると思います。だけど自分が本当に正し
いと思える事をすれば世界は変わる、変わらないわけがない、私はそう思
います。「幸せ」この四文字を誰もが口にする、そんな世界にしたいです。